

## 7 その他（ 1環境・2水俣市・3他 ）

### 7-1 環境について

Q1 私たち(ぼくたち)にできることは何かあるのか。

A1 水俣病は環境破壊によっておこった病気です。生活の中でなるべくごみを出さないように工夫したり、身近にある山や川や海を汚さないなどありますが、一番大切なのは、環境を守るためにはどうすればいいのか自分で考えてほしいということです。

Q2 水俣市が行っているごみ分別は何種類あるのか。

A2 現在は、20種類です。(生きびん、雑びん<透明・茶色・その他色>、スチール缶、容器包装プラスチック、アルミ缶、ペットボトル、新聞・ちらし、雑誌・その他紙類、ダンボール、布類、粗大ごみ、有害物(蛍光管・電球類、乾電池類)、燃やすごみ、生ごみ、破碎・埋立、電気コード類、食用油、小型家電)

Q3 分別を始めた頃と現在の人々の意識の違い。

A3 環境を汚さない、自らできることをするということから、ごみの分別に取り組んでいます。水俣市は20種類の分別をしています。最初は、何種類もの分別でとまどいや反発もありましたが、たくさんの人(取材・視察など)が見学をされる中で、自信や誇りに変わり、環境を守り、自然を大切にし、互いに思いやる気持ちをもてるようになりました。

Q4 公害を防ぐため、今はどのような取り組みがされているのか。

A4 環境基本法などの法律によって、大気汚染、水質汚濁、土壤汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭による公害の防止対策として環境の監視や各種の規制が行われています。また、水俣市は、環境基本条例を制定し、環境優先のまちづくりを進めています。

Q5 水俣のごみ処理の制度はどんなものがあるのですか。

A5 20種類の高度分別です。「小規模であっても全国中小都市のモデルになること」「市民、行政、産業界の三位一体となった4Rの推進」「身の丈にあった市民総参加型」の3つを掲げています。

Q6 1年間にどれくらいのごみがでるのか。

A6 総排出量は年間 7,000トン程度です。

Q7 水俣をきれいにするためにがんばっていることは何か。

A7 ごみの分別です。水俣病のように環境を破壊することのないようにと市民の協力を得て取り組んできました。また、環境基本条例を制定し、環境優先のまちづくりを進めています。このことが評価されて、環境モデル都市や環境首都として認められました。

Q8 分別を「する」「しない」ではどれくらい影響が違うのか。

A8 環境を守る意識が低かった頃は、可燃ごみと埋立ごみの2種類しかなく、ごみに含まれる有害物質により大気汚染や土壤汚染、水質汚染を引き起こし、全国的に社会問題となっていました。ごみを分別することにより、このような汚染を減らすことができ、再利用できるごみは再生処理によって新たな製品として役立つこともできますし、ごみの総量を減らすこともできます。また、分別する前の水俣市では、ごみの中にガスボンベが紛れ込み、ごみ処理設備が大破したことがありましたが、分別によりこのような事故を防ぐことができます。

## 7 その他（1環境・2水俣市・3他）

### 7-2 水俣市について

Q10 環境都市水俣の取り組みをくわしく知りたい。また、自分たちでできることを考えたい。

環境モデル都市づくりに向けた小学生の取組について

A10 環境モデル都市づくりで水俣市が掲げた取組方針は、「環境配慮型暮らしの実践」「環境にこだわった産業づくり」「自然と共生する環境保全型都市づくり」「環境学習都市づくり」の4分野です。この中で小学生にできる取組は、環境ISOやごみ分別など、省エネ・省資源、リサイクルを実践し、環境に配慮したライフスタイルを日常化して、クリーンなエネルギーの使用に転換していくことを目指している「環境配慮型暮らしの実践」だと思います。

Q11 水俣病に関する差別解消に向けた取り組みについて

A11 水俣病に関する差別は、水俣病のことをよく理解していないことが原因ですので、多くの人たちに水俣病を理解してもらうため、水俣病資料館の展示や語り部講和を行っています。この外にも県内外の施設や学校において、水俣病に関するパネル展示や語り部講和を行っています。また、熊本県では、小学5年生を対象に「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施し、県内の小学5年生全員が水俣病について学習しています。

Q12 環境マイスターには何人ぐらいの人が認定されているのか。

A12 これまで35名が認定されています。現在は33名の方が環境や健康にこだわったものづくりを進め活動されています。

Q13 分別されたごみのその後の処理について

A13 リターナブルびん(生きびん)は、洗浄してビンとして再利用されます。

雑びんは、透明、茶色、その他に分別して細かく砕いて溶かし、新しいびんに生まれ変わります。

スチール缶は、つぶして原料化し、製鉄工場で溶かして、建物や橋の鉄筋・鉄骨、スチール缶、自動車の部品などに生まれ変わります。アルミ缶も同様に、工場でアルミニウム原料となり、自動車の部品やアルミ缶などに生まれ変わります。

ペットボトルは、洗浄の上、細かく砕いて、シャツや卵パック、ペットボトルとして生まれ変わります。

プラスチック類も化学製品の原料となって再利用されます。

(例)ビール瓶の一生は約8年間(20~25回)利用されます。その後は細かく砕かれてカレット(ビンの原料)になり再び新しいビンへ生まれ変わります。

## 7 その他（ 1環境・2水俣市・3他 ）

### 7-3他

Q1 当時、水道水には影響はなかったのですか。

A1 ありませんでした。

Q2 水俣メモリアルに込められた意味は何か。

A2 水俣病の犠牲者への慰霊・鎮魂、水俣病の経験をふまえて再び過ちを繰り返さないことを祈念し、水俣病公式確認40年を記念してつくられ、そこで水俣病犠牲者慰霊式を開催していました。公式確認50年のときには、水俣湾埋立地に慰霊の碑を建立し、慰霊式はそちらで実施することとなりましたが、メモリアルが祈りの場であること、犠牲者に対して思いを巡らせる場所であることに変更ありません。

Q3 水俣の海はもとのような海に戻りましたか。

A3 水銀を含んだヘドロの埋立により環境復元が図られ、水俣湾の魚を獲ることができるようになり、サングの生息も確認されるなどきれいな海に戻りました。水銀の調査は、現在も続けられており、毎年、安全性が確認されています。しかし、魚がたくさん生息していた頃の豊穡の海には戻っていません。壊れた自然をもう一度取り戻すことはとても難しいのです。

Q4 もやい直しセンターはどれくらいの大きさの建物か。主な活動はどのようなものか。

A4 地域のきずなの修復を図る交流拠点として建設されたもやい館は、健康・福祉センターの機能を有する複合施設で、4階建ての建物です。社会福祉協議会や保健センターがあり健康・福祉の拠点施設であるほか、300人を収容するホール、会議室、ギャラリー、調理室、工作室、音楽室などがあり、自主講座、コンサート、各種イベントや会議など、いろいろな活動に利用されています。

Q5 水俣病のような公害を起こさないためにどうすればいいのですか。

A5 二度と同じような公害を繰り返さないと固く心に刻むことが必要だと思います。そのためには、私たちができること、ひとり一人ができることを精一杯行い、自然を大切にして、環境を壊さないようにしていくことが必要です。

Q6 水俣市民会議はどれくらいの人数で結成されたの？

「水俣病市民会議」は、どのような人たちがつくったか。

A6 1968年に、水俣地区労働組合協議会 30 余人を中心に「水俣病対策市民会議」を発足しました。後に、対策という言葉が第三者的だということで、「水俣病市民会議」と名称を変更しました。

Q7 脱原発となったら電力は足りるのか。

A7 電気は、いろんなところに使われており、電力が不足すると私たちの生活は非常に不便なことになります。つまり脱原発は、電力不足が起こらないように、必要とされる発電量のうち、どれくらい原発による発電が必要なのかを確認しながら進められると思います。

Q8 地球温暖化を止めるにはどうしたらよいか。

A8 地球温暖化は、石油や石炭などの化石燃料を燃やして、二酸化炭素を大量に排出することによって起こります。その原因は、火力発電所、自動車・飛行機・船などの燃料、家庭のLPガス・都市ガスや灯油、工場のボイラーなどたくさんあります。地球温暖化を防止するには、省エネを進めて二酸化炭素の排出量を減らしたり、森林を育てて空気中の二酸化炭素を減らすなどの対策を行っていく必要があります。

Q9 水俣病を発見した人は誰か。(尽力してきた人物)

A9 チッソ付属病院の細川一院長です。細川院長は、小児科の医師を水俣保健所へ派遣し、原因不明の神経疾患児続発を報告(水俣病発生の公式確認)しました。

Q10 おいしい水とはどんな水のことをいうのか。

A10 水俣市の水道局のホームページに記載してありますが、誰もが安心して飲める水のことだと思います。

Q11 資料館などが作られた理由(場所が決まった理由)

A11 水俣病資料館は、水俣病を風化させることなく、公害の原点といわれる水俣病の貴重な資料を収集・保存し、後世に水俣病の教訓と経験を伝える目的で建設されました。場所については当初、市街地の計画もありましたが、県環境センターの設立の関係や駐車場などを考慮した結果、現在の位置になったようです。

Q12 利益か人命かという選択肢の中でどう行動すればいいか。

A12 水俣病は利益を優先したために被害が拡大し、いまだに解決していません。どのような場合であっても、人の命や健康を考えないという選択肢はないと思います。

Q13 放射能の汚染水をどう考えたらよいか。

A13 放射能の汚染水は、発がん率が高くなるなど健康に大きく影響しますが、やみくもに騒ぎ立てるのではなく、風評被害などが起こらないように、事実を確認し冷静に対応することが大切だと思います。

Q14 人間の差別心について、なぜ差別が生まれるのか。

A14 各学校において話し合ってください。学校において取り組まれている人権学習の中で、水俣病の歴史を振り返り、なぜ差別が生まれるのかを考えてください。

Q15 水俣病を語り継ぐ人が変わってきていること(年齢的な問題によって)へはどのように取り組まれているか。

A15 現在水俣病資料館の語り部は10名ですが、3名が活動休止中です。90歳を超えている語り部もいらっしゃいます。年齢を重ねるとともに日々の体調に不安を抱えておられるのが現状です。語り部は、患者並びにその家族ということでお願いしていますが、後継者の問題は大きな課題となっています。その解決の一步として、「伝え手」制度という新しい制度をつくり、患者以外の方でも話ができるよう、語り継ぐための取り組みを始めています。

Q16 地球温暖化が進むと海面が上昇しますが、平国地区でも海面が上昇しますか。

A16 地球温暖化は、気温の上昇、気候の変動、海面上昇などが地球全体で起こりますので、平国地区も例外ではないと思います。(海水の上昇は過去100年で17cm上昇しているそうです。)

Q17 養殖業は海水汚染に影響がありますか。

A17 養殖は、いけすなどで囲んだ狭い中でたくさんの魚介類を育てます。その海底には、食べ残しのエサや糞などが堆積しますが、その量が海の浄化能力を超える場合は、海の環境に影響を及ぼすと思います。また、魚介類が病気にならないように薬を使う場合もあり、薬品が影響することも考えられます。

Q18 水俣の隣町に住む、津奈木の子どもたちは水俣病についてどんな姿勢で向き合うことが求めているでしょうか。

A18 水俣病の正しい知識と理解を深めていただくことをお願いしたいです。

環境を破壊して起きた水俣病から、環境を守り、自然を大切にし、互いに思いやる気持ちを持つことを改めて考える機会となっただけならとてもうれしく思います。

Q19 水俣条約とはどんな条約ですか。

A19 水銀に関する水俣条約は、水銀が人の健康及び環境に及ぼすリスクを低減するため、水銀に対して、産出、使用、環境への排出、廃棄など、そのライフサイクル全般にわたって包括的な規制を策定する初めての条約です。外交会議に60か国以上の閣僚が出席し、92か国が署名を行ったことは、水銀規制に対する国際社会の強い関心の現れといわれています。

国連環境計画(UNEP)という国連機関が、熊本市と水俣市で開いた会議には、約140カ国の地域と国際機関が参加しました。